

環境報告書

(2002 . 12 ~ 2004 . 6)

認証継続編

(1)

平成 1 6 年 7 月

株式会社 西栄設備事務所

かんぱん

坂元小四年
みのり

ご挨拶

環境問題が取り立たされる今日、ISO14000などの環境マネジメントシステムを導入される会社や組織が増えていることは、素晴らしい傾向だと思います。

弊社としても微力ながらも環境負荷を低減するために、KES（環境マネジメントシステム・スタンダード）の取り組みを始め、平成14年12月25日ステップ1の認証をいただきました。

平成15年も、環境改善目標の達成に向けて社員全員で取り組むことで、PDCA（Plan・Do・Check・Action）のマネジメントシステムが定着してきました。また、このことは単に環境問題のみではなく、業務品質といったマネジメントに共通して活用することができるということが判りました。

今回、KESの定着に向けた2年目の取り組みを、第1版の「認証取得編」に続き環境報告書「認証継続編(1)」としてまとめました。ご一読いただければ幸いです。

「いにしへの道を聞いても唱えても、

我が行いにせすは甲斐なし」

日新公いろは歌より

（立派な話を聞いたり話したりではなく実際に行動することが大事）

環境のためにできることを、コツコツと！

今後ともご指導よろしくお願いいたします。

KES環境管理責任者
樫木信彦

KESってなに？

KESは「環境マネジメントシステム」の規格です。
「環境マネジメントシステム」とは、企業等の経営に当たって環境への負荷を管理・低減するための仕組みです。環境マネジメントシステムで良く知られているものに、国際規格ISO14001があります。しかしISOは、中小企業にとっては経費負担が大きく、内容が複雑で分かりにくいことなどが障害となって、認証取得が困難であるといわれています。分かりやすく取り組みやすい、環境保全に取り組む組織・団体の身の丈にあった規格として誕生したのがKESです。
あらゆる規模・業種の組織（企業・自治体・学校・家庭等）で取り組みます。